

パネリスト発表

<パネリスト> (発表順)

- ① 中島 幹男 氏 (都立広尾病院 救命救急センター医長)
「DMATの活動」

- ② 伊藤 雅史 氏 (東京都医師会 理事)
「都医療救護班の立場から」

- ③ 中井 章人 氏 (日本医科大学多摩永山病院 副院長)
「災害と周産期医療」

- ④ 松本 賢芳 氏 (日本赤十字社災害医療コーディネーター)
「熊本地震—派遣報告—」

- ⑤ 湯澤 伸好 氏 (東京都歯科医師会 総務理事)
「被災地における歯科医療活動」

DMATの活動



都立広尾病院 救命救急センター
中島幹男

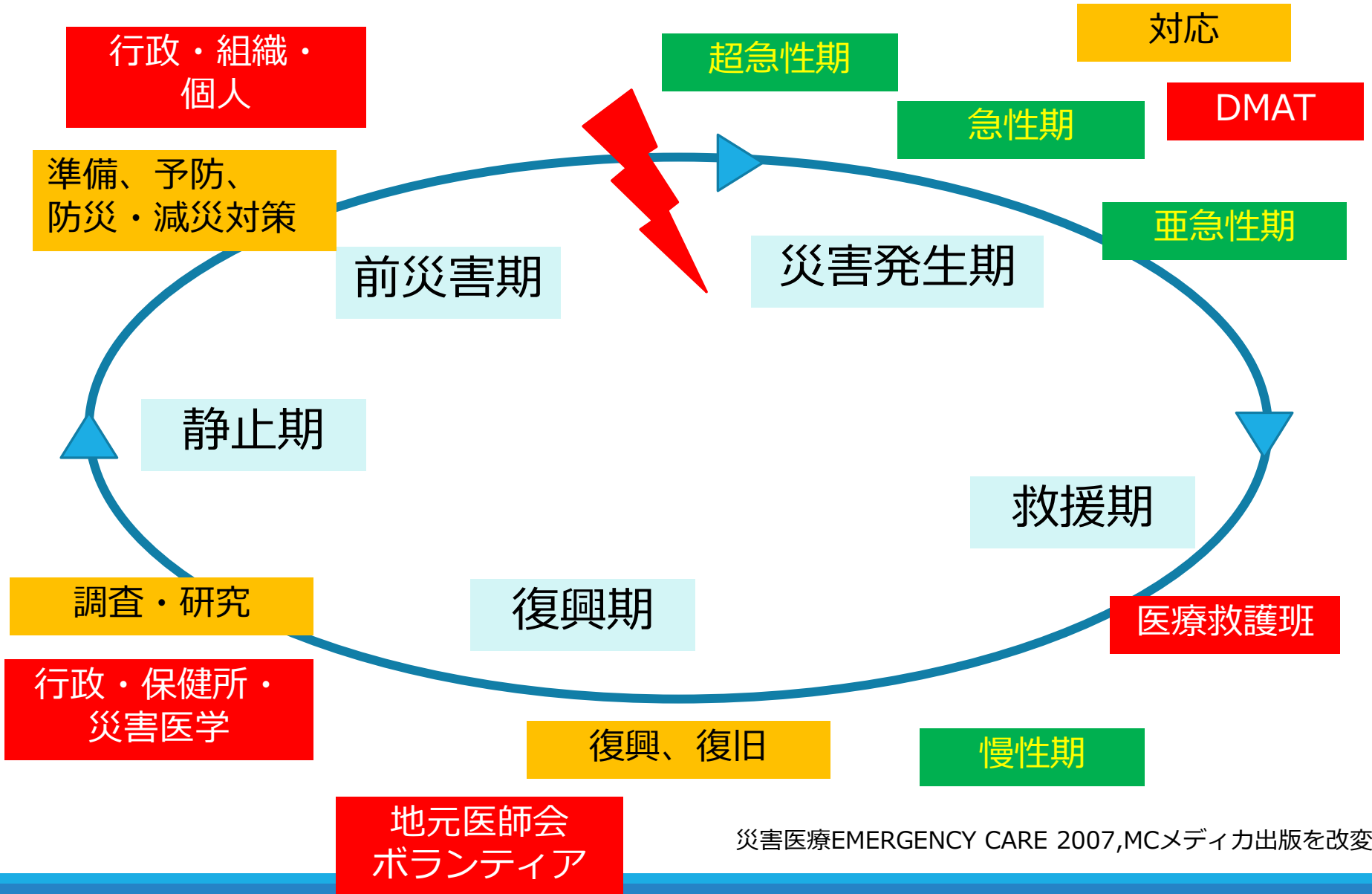


災害

- ◆ 広範囲大規模災害
- ◆ 局地災害
- ◆ 多数傷病者発生事故

- ◆ 自然災害 地震、台風、津波、噴火
- ◆ 技術的 工場、車両、航空機、核施設
- ◆ 社会的 テロ、事件、ハイジャック

災害のサイクル



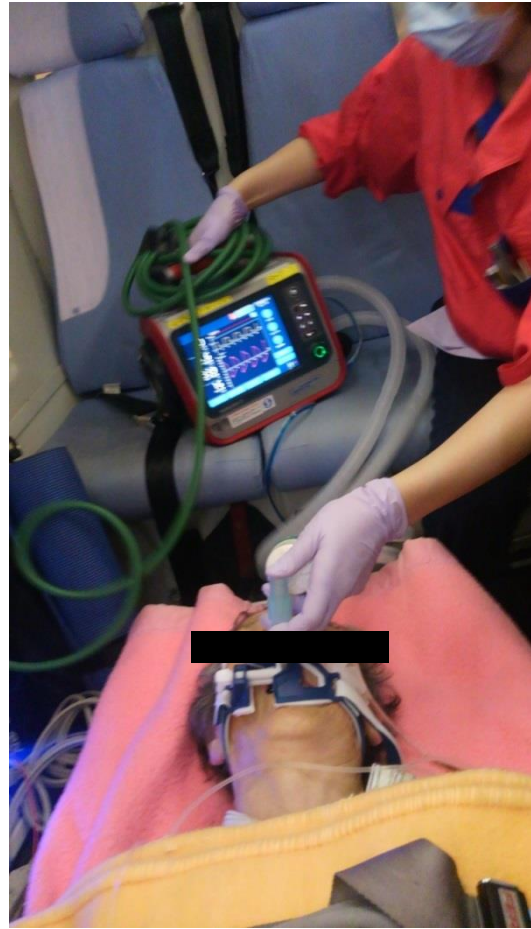
災害医療EMERGENCY CARE 2007,MCメディカ出版を改変

DMATとは？

災害の急性期(48時間以内)に活動できる
機動性を持った、
トレーニングを受けた医療チーム



伊豆大島土石流災害



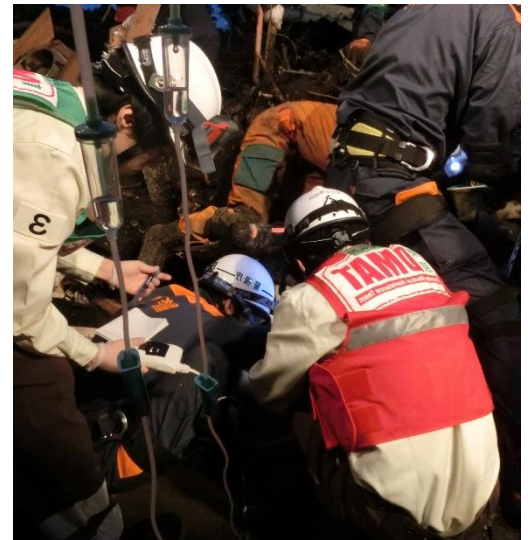
©Google

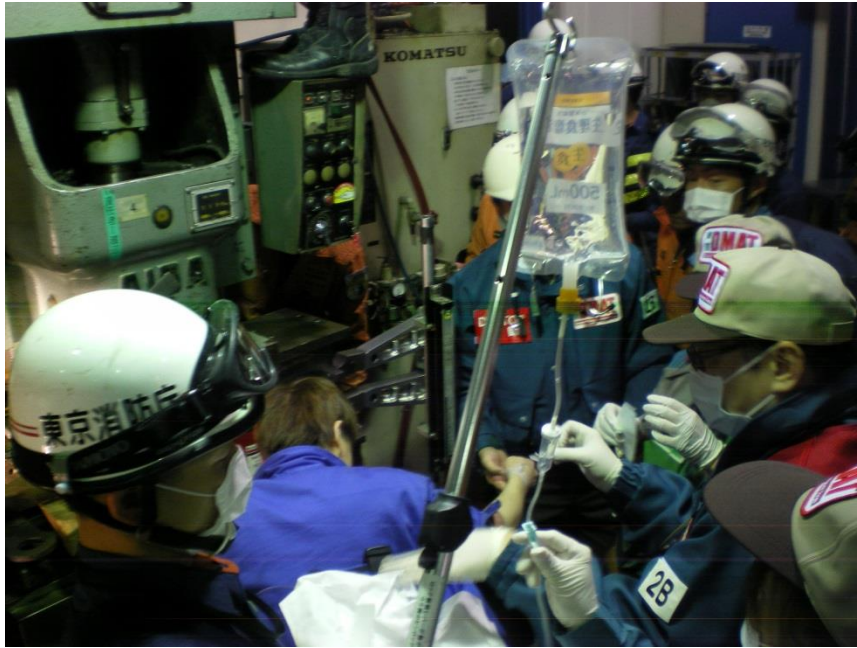
患者搬送



瓦礫の下の医療

伊豆大島土砂災害





工場での機械挟まれ

交通事故

転落事故

化学物質事故



列車事故



温泉施設爆発



DMATの役割 発災後の急性期

- ◆瓦礫の下の医療
- ◆現場救護所
- ◆病院支援
- ◆患者移送
- ◆情報収集
- ◆メディカル・コントロール

東日本大震災

広域搬送



熊本震災

病院支援



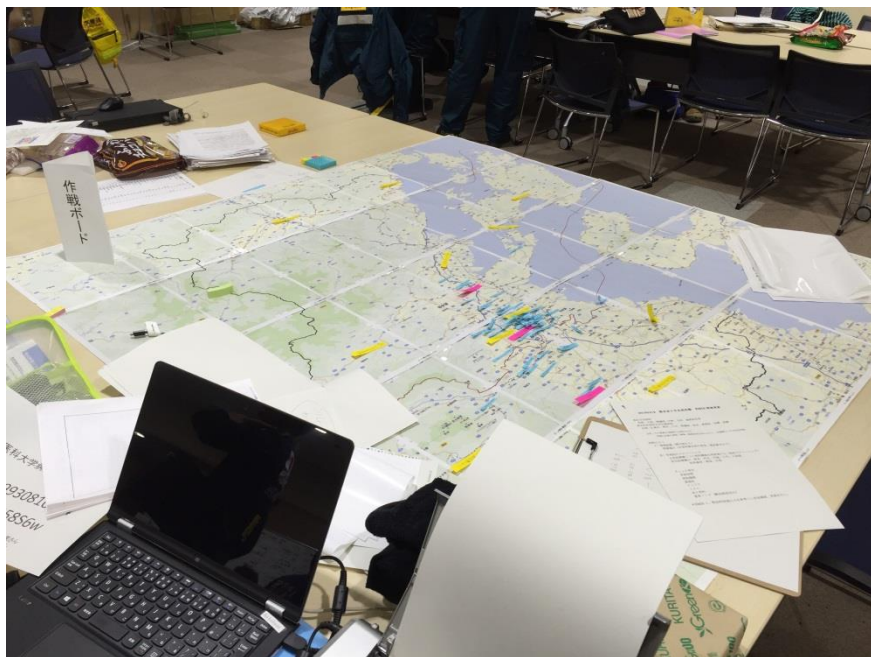
@熊本赤十字病院



熊本震災 DMAT本部

現地の医療ニーズの把握

情報戦！



- ◆ 病院支援？
- ◆ 患者移送？
- ◆ 避難所での診療？
- ◆ 現場救助？

DMAT隊員は 普段何をしているのか？

- ◆ 医師
- ◆ 看護師
- ◆ ロジスティックス
事務, 薬剤師, 放射線技師

東京消防庁と合同訓練



普段 不断

- ◆救急医療
- ◆重症・集中治療
- ◆総合診療

火事場の馬鹿力には期待できない

いつなん時、いかなる場所で、いかなる事が起こった場合でも善処ができるように常々準備を怠ることなかれ

備えよ常に **-Be prepared-**

ボーイスカウト日本連盟

平成28年度「救急の日」シンポジウム



II-(1) パネルディスカッション
「都医療救護班の立場から」

熊本地震における病院支援
(阿蘇医療センターなど) における支援活動

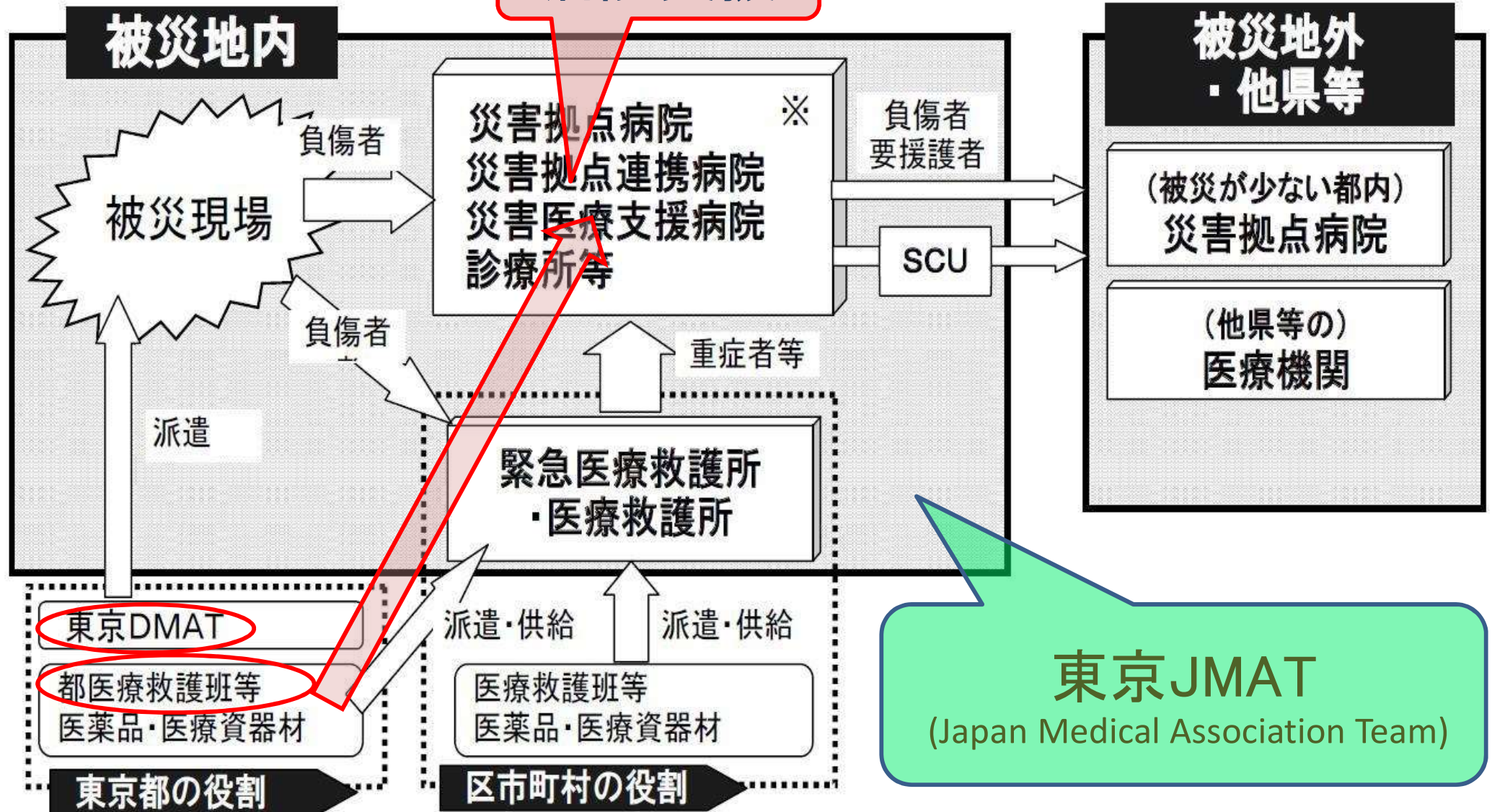
東京都医師会病院 防災担当理事
社会医療法人社団慈生会等潤病院 理事長

伊藤 雅史

災害時の医療救護活動

東京都防災計画震災編より

病院支援



初動医療体制の確立

区 分	内 容
医療救護班	<ul style="list-style-type: none"> ○ 傷病者に対する応急処置 ○ 災害拠点病院等への転送の要否及び転送順位の決定 ○ 輸送困難な患者、軽症患者等に対する医療 ○ 助産救護 ○ 死亡の確認 ○ 以上のほか、状況に応じて遺体の検案に協力する。
歯科医療救護班	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科医療を要する傷病者に対する応急処置 ○ 災害拠点病院等への転送の要否及び転送順位の決定 ○ 避難所内における転送の困難な患者、軽症患者等に対する歯科治療、衛生指導 ○ 検視・検案に際しての法歯学上の協力
薬 剤 師 班	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療救護所等における傷病者等に対する調剤、服薬指導 ○ 医療救護所及び医薬品の集積場所等における医薬品の仕分け、管理 ○ 一般用医薬品を活用した被災者の健康管理支援 ○ 避難所の衛生管理・防疫対策への協力

初動医療体制の確立

- 東京 DMAT 指定病院 25 病院
- 都医療救護班 211 班
- 都歯科医療救護班 110 班
- 都薬剤師班 200 班
- 災害拠点病院ヘリコプター緊急離着陸場 21 か所

○ 都医療救護班(計 211 班)

- (ア) 都立・公社病院 26 班(医師 1 名、看護師 1 名、事務その他 1 名)
- (イ) 都医師会 92 班(医師 1 名、看護師 1 名、事務その他 1 名)
- (ウ) 日赤東京都支部 32 班(医師 1 名、看護師 3 名、事務その他 2 名)
- (エ) 災害拠点病院 61 班(医師 1 名、看護師 1 名、事務その他 1 名)

熊本地震；東京都医師会医療救護活動



都内DMAT



派遣期間	4月														5月										
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7				
東京JMAT	帝京大・横浜市大 合同チーム (内田康之)										東京都 医師会 (猪口正孝)				多摩市医師会 (田村豊)			多摩市医師会 (丹沢俊弘)							
東京都 医療救護班	白鬚橋病院 (墨田区)		日本医科大学病院 (文京区)				平成立石病院 (葛飾区)			等潤病院 (足立区)			白鬚橋病院 (墨田区)		いずみ記念病院 (足立区)										
	南多摩・永生病院 (八王子市)																								
						都立墨東病院				都立駒込病院				都立大塚病院			都立広尾病院								
																				災害医療センター					

5月																											
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
三鷹市医師会 (角田徹)			調布市医師会 (串山紀夫)			北多摩医師会 (今井均)			調布市医師会 (田中奈保子)			三鷹市医師会 (高松慶太)			八王子市医師会 (加塩信行)			調布市医師会 (青木誠)			足立区医師会 (草場雄大)						
江東病院 (江東区)																											
多摩総合医療センター			健康長寿医療センター				豊島病院																				
災害医療センター																											

熊本地震医療救護活動



かつての阿蘇大橋(2009年撮影)



国土地理院による本震・前震の震源断層モデルと地震調査委員会による布田川・日奈久断層帯の位置図

熊本地震医療救護活動



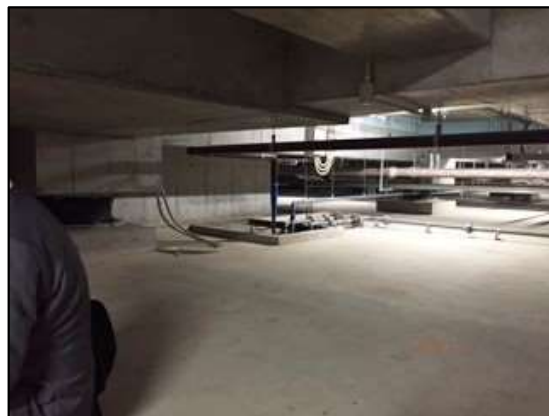
阿蘇医療センター



↑ 2014年8月竣工



← 免震構造



病院支援の
光景 →



20160909 救急の日シンポ

ADROの活動

参加機関：熊本県、阿蘇市、阿蘇保健所、阿蘇医療センター、阿蘇郡市医師会・歯科医師会・薬剤師会、警察、消防、自衛隊、日本赤十字社、DPAT(災害派遣精神医療チーム)、JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議)、阿蘇リハビリテーション広域支援センター、社会福祉協議会、HuMA(災害人道支援会)、ICT(感染コントロールチーム)、ADRO事務局、各医療救護チーム他



ADROの活動

活動内容：

- * 医療ニーズの分析

- * 情報共有

- * 避難所、高齢者・介護施設支援

阿蘇エリア・西原エリア・南阿蘇エリア

- * 病院支援

大阿蘇病院、阿蘇医療センター、阿蘇温泉病院

→ 看護師・コメディカルのニーズが高い

- * ADRO ICT（感染対策チーム）

ノロウイルス・インフルエンザ対策

衛生管理の指導（トイレ清掃、吐瀉物の処理）

- * 深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）対応

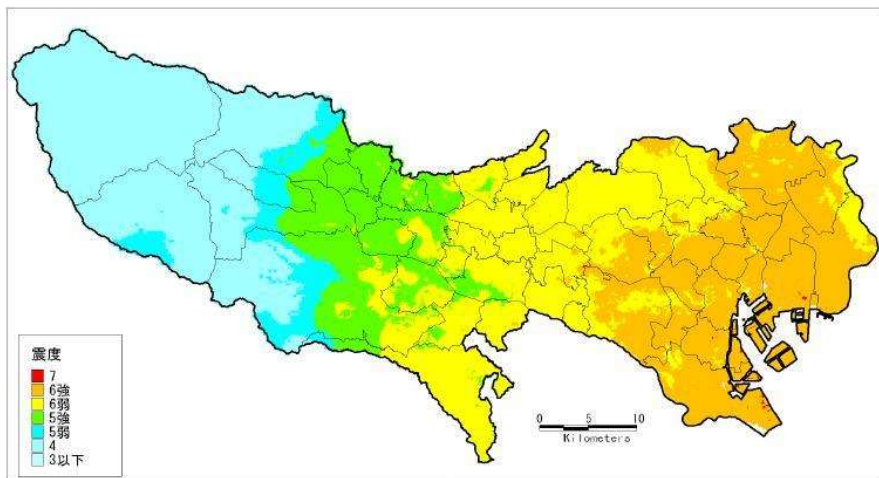
東京JMATの活動

- * 発災初期に帝京大・横浜市大チームの先遣隊
- * 4月26-27日 東京都医師会副会長視察
- * 5月1日～31日 JMAT 10チーム派遣
 - 1～16日 ADROでの医療救護活動
 - 15～31日 SADRO (South ADRO)
 - SADROにおける統括 (コーディネーター)
 - 南阿蘇地区の避難所医療救護
- * 東京都医師会職員の派遣

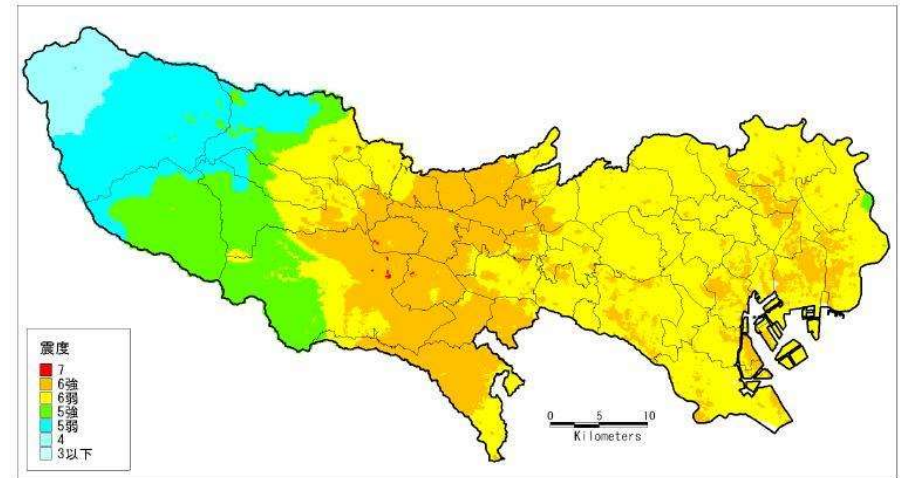
首都直下型地震が起こったら



- 都医療救護班は地域の救急医療機関が担う
→ 災害時にも地域における救護活動の中核
- 自院の安全確保、業務継続計画(BCP)
- 区市町村地域防災計画における医療救護活動
→ 地域に根差した医療救護訓練を平素より！
- 東京都等との支援・受援連携



東京湾北部地震(M7.3)



多摩直下地震(M7.3)

等潤病院災害時BCP

首都直下地震発生時における業務継続計画

2016年3月31日 制定
【第1版】



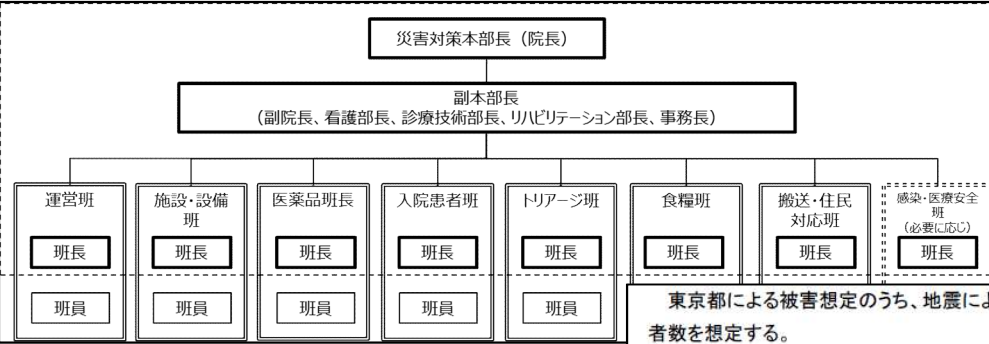
発災直後における各職場の初動行動

【グループ名】 _____ 医事グループ _____

- <自身・周囲の安全確保>
 - 医事課のドアを開放し待合ホールに出る。
 - 姿勢を低くして揺れがおさまるまで待つ。
 - 患者、職員に互いに声掛けをして安全を確保する。
- <揺れが収まった後：被害状況の把握など>
 - エレベーター内に人が取り残されていないか確認する(医事課内にあるエレベーター内とつながる専用電話にて)。
 - 体調が悪い方、ケガをしている方がいないか確認する。
 - 被害状況の確認がとれるまで院内で待機するよう声掛けをする。
 - 総務と連絡をとり対策本部の設置場所に参集するよう館内放送を行う。
 - 自動ドアを手動にし、避難経路を確保する(ただし、建物倒壊の危険性は少なく、室内の方が安全の可能性が高いので慌てて外に出ないよう呼びかけを行う)。
- <対策本部へ参集>
 - 総務管理グループ指示に従い、対策本部の設置場所にお集まりするよう、館内放送を行う。「ただいま大地震が発生しました。対策本部設置場所の1階待合ホールへ、直ちに参集してください。」
 - 医事グループ長は対策本部へ参集する。

←直後の対応

↓超急性期の対応



↓被害想定

東京都による被害想定のうち、地震による負傷者数想定に基づき、当院が受け入れる患者数を想定する。

- 地震発生後3日間(72時間)で、300~500人。
- 1日目の患者数は42~100人。2・3日目は129~200人ずつ。

<受入患者数想定の詳細>

(1) 受入全数の想定

- 前提
 - 当院は災害拠点連携病院であり、災害拠点連携病院においては、中等症者と容態の安定した重症者を主として受け入れることとなっている。
- 足立区内の人的被害想定
 - 死者 424人(冬12時、風速4m/s)~712人(冬18時、風速8m/s)。
 - 負傷者 6,839人(同)~11,759人(冬5時、風速8m/s)。
 - うち、重傷者 884人(同)~1,420人(同)。
- 足立区内の人的被害を当院に按分

約10か月間、毎月1回、各部門の責任者20名以上で会議を行い策定。各フェーズ・部署ごとの行動計画を具体的に記載。

G03 食事の提供																																													
担当班	食糧班																																												
対応手順	<p>【想定数】</p> <p>患者：140名 (飲料用備蓄水は164名)</p> <p>職員：150名</p> <p>【災害時献立】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般食 (常食・全粥・7分粥)</th> <th>特殊食 (トロミ・キザミ・芋粥・ゼリー)</th> <th>流動食・ ミキサー食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1食</td> <td>*白がゆ</td> <td>かれのい煮ごり</td> <td rowspan="2">濃厚栄養流動</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>*たまごスープ</td> <td>カップゼリー</td> </tr> <tr> <td>2食</td> <td>*白飯</td> <td>ほたてのクリーム煮ごり</td> <td rowspan="2">濃厚栄養流動</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>カレー</td> <td>カップゼリー</td> </tr> <tr> <td>3食</td> <td>*白がゆ</td> <td>とりの照焼き煮ごり</td> <td rowspan="2">濃厚栄養流動</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>*親子丼の煮</td> <td>カップゼリー</td> </tr> </tbody> </table> <p>※備蓄は3日間分とし、上記を繰り返す。 ※職員は一般食と同様の献立とする。 ※フリーズドライ食品のため、水を要する。</p>		一般食 (常食・全粥・7分粥)	特殊食 (トロミ・キザミ・芋粥・ゼリー)	流動食・ ミキサー食	1食	*白がゆ	かれのい煮ごり	濃厚栄養流動	目	*たまごスープ	カップゼリー	2食	*白飯	ほたてのクリーム煮ごり	濃厚栄養流動	目	カレー	カップゼリー	3食	*白がゆ	とりの照焼き煮ごり	濃厚栄養流動	目	*親子丼の煮	カップゼリー																			
	一般食 (常食・全粥・7分粥)	特殊食 (トロミ・キザミ・芋粥・ゼリー)	流動食・ ミキサー食																																										
1食	*白がゆ	かれのい煮ごり	濃厚栄養流動																																										
目	*たまごスープ	カップゼリー																																											
2食	*白飯	ほたてのクリーム煮ごり	濃厚栄養流動																																										
目	カレー	カップゼリー																																											
3食	*白がゆ	とりの照焼き煮ごり	濃厚栄養流動																																										
目	*親子丼の煮	カップゼリー																																											
必要物品 (保管場所)	<p>必要在庫数</p> <p>【一般食】 患者数100名 / 職員数150名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>必要数</th> <th>規格</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白がゆ(42g)</td> <td>1,500食</td> <td>50袋/箱</td> <td>30箱</td> </tr> <tr> <td>白飯(100g)</td> <td>750食</td> <td>50袋/箱</td> <td>15箱</td> </tr> <tr> <td>たまごスープ(7g)</td> <td>750食</td> <td>50袋/ケース</td> <td>15ケース</td> </tr> <tr> <td>カレー(200g)</td> <td>750食</td> <td>30袋/ケース</td> <td>25ケース</td> </tr> <tr> <td>親子丼の煮(22g)</td> <td>750食</td> <td>50袋/ケース</td> <td>15ケース</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1日あたり水を1リットル/人 必要とする。</p> <p>【特殊食】 患者数30名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>必要数</th> <th>規格</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かれのい煮ごり(60g)</td> <td>90食</td> <td>6食/箱</td> <td>15箱</td> </tr> <tr> <td>ほたてのクリーム煮ごり(60g)</td> <td>90食</td> <td>6食/箱</td> <td>15箱</td> </tr> <tr> <td>とりの照り焼き煮ごり(60g)</td> <td>90食</td> <td>6食/箱</td> <td>15箱</td> </tr> <tr> <td>カップゼリー(77g)</td> <td>270食</td> <td>バラ</td> <td>270個</td> </tr> </tbody> </table>	品名	必要数	規格	合計	白がゆ(42g)	1,500食	50袋/箱	30箱	白飯(100g)	750食	50袋/箱	15箱	たまごスープ(7g)	750食	50袋/ケース	15ケース	カレー(200g)	750食	30袋/ケース	25ケース	親子丼の煮(22g)	750食	50袋/ケース	15ケース	品名	必要数	規格	合計	かれのい煮ごり(60g)	90食	6食/箱	15箱	ほたてのクリーム煮ごり(60g)	90食	6食/箱	15箱	とりの照り焼き煮ごり(60g)	90食	6食/箱	15箱	カップゼリー(77g)	270食	バラ	270個
品名	必要数	規格	合計																																										
白がゆ(42g)	1,500食	50袋/箱	30箱																																										
白飯(100g)	750食	50袋/箱	15箱																																										
たまごスープ(7g)	750食	50袋/ケース	15ケース																																										
カレー(200g)	750食	30袋/ケース	25ケース																																										
親子丼の煮(22g)	750食	50袋/ケース	15ケース																																										
品名	必要数	規格	合計																																										
かれのい煮ごり(60g)	90食	6食/箱	15箱																																										
ほたてのクリーム煮ごり(60g)	90食	6食/箱	15箱																																										
とりの照り焼き煮ごり(60g)	90食	6食/箱	15箱																																										
カップゼリー(77g)	270食	バラ	270個																																										

地域との合同防災訓練



平成26年等潤病院防災訓練 ← 平成27年足立区総合防災訓練 →

地域の避難所訓練への参加

東栗原小学校避難所運営訓練に参加してきました。

5つの訓練を各町会の方々が順に参加するという内容で
当院ではトリアージ訓練を担当させていただきました。

- ・初期消火訓練
- ・AED操作訓練
- ・防災グッズ作成
- ・アーストイレや災害時特設電話、備蓄品などの見学
- ・トリアージ訓練

避難所の訓練として初めての参加でしたが、
暑い中、多くの町会の方々が真剣に取り組んでいました。

地域の町会の方々(保塚町、一ツ家二丁目、一ツ家三丁目、一ツ家四丁目)



ご清聴有難うございました